

VCP for TOKYO Tourism 2025

地域と人の関係を「再生」する、観光サービスデザイン講座

日程	プログラム概要※内容は変更する場合があります。
DAY 1 12月9日(火) 18:00-20:30	◎<u>プログラムオリエンテーション</u> VUCA 時代における観光業の課題に応えるべく、顧客価値を重視する「エクスペリエンスデザイン」や、顧客と提供者やその他の利害関係者の体験を俯瞰し包括的に捉える「サービスデザイン」を活かして、顧客の記憶に残る体験の創出を目指すイノベーション開発のアプローチを概説します。 講師：武蔵野美術大学造形構想学部 教授 丸山 幸伸 ◎<u>都市における体験を考察するためのアート</u> 観光とアートは深い結びつきを持っています。どちらも日常とは異なる視点を体験し、文化、自然、地域に新しい価値観と理解を提供する活動です。情報化社会の進展により「美」や「体験」は多様化しています。本講座では、観光とアートの関係を掘り下げ、新しい観光のかたちを考えます。 講師：武蔵野美術大学造形構想学部 准教授 石川 卓磨
DAY 2 12月16日(火) 18:00-20:30	◎<u>1階から始める、まちとひとの暮らしを「再生」するデザイン</u> 近年、都市生活者の関係の希薄化が指摘されており、それに対して建築を通して、人が幸せになれるような社会づくりが模索されています。本講座では「1階づくりはまちづくり」をモットーに、日本初の私設公民館「喫茶ランドリー」や全国で1階づくりに取り組む株式会社グランドレベルの事例とその背景にある考え方を紹介します。 講師：株式会社グランドレベル 田中 元子氏
DAY 3 1月13日(火) 18:00-20:30	◎<u>老舗酒造の世界観を100年先に継ぐ、ブランド体験のデザイン</u> 日本の伝統文化や食が世界的に見直される一方で、事業の面では衰退産業といわれ廃業の危機に瀕している分野も少なくない。本講座では湘南地域で唯一の老舗酒造六代目として取り組んだ、酒ブランドの再生の物語と、地域の暮らしの中に自然と文化、そして共創型のビジネスが融合した次世代コミュニティのあり方について紹介します。 講師：熊澤酒造株式会社 熊澤 茂吉氏
DAY 4 1月24日(土) 13:00-17:00	◎<u>ワークショップ</u> これまでの座学によって得られた視点をもとに、都内のフィールドにて写真撮影や素描などのワークを経て気づきをまとめるまち歩き調査と、その視点をもとにしたサービスアイデアの機会について考えるワークショップを行います。
DAY 5 2月2日(月) 18:00-20:30	◎<u>講評</u> ワークショップの成果発表と、一連の学びを終えたフィードバックを相互に行い学びを定着させます。
DAY 6,7 2月28日(土) 3月1日(日)	◎<u>フィールドワーク@伊豆大島</u>